

# 千秀だより

横浜市立千秀小学校

2月号

平成30年(2018)2月1日



新たな10年に向かって～振り返りと未来に向けて～

校長 市川 幸男

平成30年もはや1ヶ月が過ぎ、4日には「立春」を迎え、暦の上ではもう春になるのですが、早春賦で歌われる「春鼻のみの風邪の寒さや」の通り、まだまだ厳しい寒さが続いている毎日です。それでも、時には雪が降ったりする寒さの中、子どもたちは元気に勉強や運動に一生懸命取り組んでおります。校庭を走り回る子どもたちの姿を見る度に、寒さに背中を丸くしている自分の姿を恥じている次第です。

さて、報道等でご存じかと思いますが、この4月(平成30年度)より、新たな10年の教育の在り方を示す、次期指導要領への対応として、教育内容の移行が始まります。次期指導要領が目指す「子どもたちが未来社会を切り開くための資質・能力をいっそう確実に育成する」こと。そのための手立てとして「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善。そして子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の重視など、学校もその姿を変革して行かねばならない時がやって参りました。「千に秀でる子の育成」の絶対的テーゼのもと「すこやかに であう ふれあう 学び合う」の教育目標を掲げ取り組んできて、16年が過ぎました。この間のIT化やグローバル化の拡大など社会状況の変化は本当に大きく、現行の教育目標とはそぐわない面も出て参りました。同様に、そういった変動する社会に生きる子どもたちの姿も、変化してきております。そこで、今回「千に秀でる子の育成」の精神は生かし、学校教育目標の見直しを図って参りたいと考えました。それに当たっては、前述したように、これから進める学校施策が地域・社会と共有・連携したものであるためにも、保護者の皆様や地域の皆様に、これからの千秀小学校が目指す姿(千秀小グランドデザイン)について、ご意見をいただきたいと考え、別紙のようにアンケートを作成致しました。年末の学校評価に続いてのアンケートとなり、お手を煩わせますが、よろしくご協力ください。

その、12月に皆様にご協力いただきました学校評価に関わるアンケートでございますが、集計結果が出ましたので、結果のいくつかをご紹介します。全体を見ますと、本年もおおむね良好なご回答をいただき、ご理解・ご協力に感謝申し上げます。特に評価の高かったのは「子どもは学校が楽しいといっている・・・96%(A・B評価の合計)」「千秀小は行きやすい・話しやすい学校・・・96%」「給食がおいしい・・・94%」「校舎内外の清掃美化や環境設備が整っている・・・93%」その他にも多くの項目で9割以上の評価をいただきました。課題としては「防災・防犯、子どもの安全対策を整える」といった子どもの安全管理に関すること、「家庭での子どもの学習にアドバイスしている」や「家庭での読書週間」等が挙げられます。今後、いただきましたご意見につきましては、より良い千秀小学校にするために、教職員や運営協議会で検討し活用していきたいと存じます。詳細は後日別紙にてご案内申し上げます。

結びになりますが、本年度も残り2ヶ月となりました。子どもたちの一日一日が充実したものとなるよう、職員一同頑張っております。今月もよろしくお願い申し上げます。

